



ニコラス・バーター (Nicholas Barter)  
王立演劇アカデミー 校長

## Data

王立演劇アカデミー (The Royal Academy of Dramatic Art)

1904年に創設された王立演劇アカデミーは、英国で最も優れた演劇学校のひとつだ。選ばれた学生を少人数制で3年間鍛え、古典劇、ラジオ、テレビ、広告など多様な分野で活躍できる俳優を徹底的に訓練し、サー・ジョン・ギルグッド、ジュリエット・スティープンソンなど名優を輩出してきた。



<http://www.rada.org/>

# Presenter Interview

2006.1.31  
プレゼンターインタビュー  
This interview explores the actor education system at The Royal Academy of Dramatic Art, an institution with a 100-year history

100年の歴史をもつ王立演劇アカデミーの俳優養成システムとは？

ロンドンの大学街ガワー通りにある「王立演劇アカデミー」は、シェイクスピア劇の制作で大評判を得た気鋭の俳優マネジャーのハーバート・ピアボエム・ツリーが、1904年、ウェストエンドのヒズ・マジェスティ劇場内に創設した演劇学校だ。翌年から現在の場所に移転し、サー・ジョン・ギルグッド、ケネス・ブラナーなど古典に強い名優や舞台美術家・舞台技術者を1世紀にわたって育ててきたことで知られる。1993年にニコラス・バーター氏が校長になってからは、日本でワークショップを行うなど日本との交流にも力を入れている。バーター氏に英国における俳優養成の現状などを聞いた。

(聞き手：菅 伸子)

王立演劇アカデミーは英国を代表する俳優養成学校のひとつです。各国で俳優養成のシステムは違うと思いますので、最初に英国で俳優がどのように養成されるかについて話してください。

英国には俳優と舞台技術者、演出家、舞台美術家を養成するための特別の演劇学校が、全部で22校あります。これらの学校は演劇学校協議会 (The Conference of Drama Schools) という組織に属していて、この団体に加盟しているすべての演劇学校に高い教育水準を設定しています。他にもここに所属しない小さな学校がたくさんありますが、一般にこの団体に加盟している22校が、優れた演劇学校だと考えられています。だいたい学校には3年間の養成コースがあります。ここ10年の間に、これらの学校はかつての成人学級 (further education) から高等教育へと移行し何らかの形で大学とつながっていますが、俳優養成は基本的に職業訓練だとみなされていて、学術のコースではありません。

また、これまで美術とデザイン、音楽のためのコンセルバトワール (芸術学校) はありましたが、演劇についてはありませんでした。2001年に演劇とダンスのための芸術大学が、初めて英国に作られました。コンセルバトワールは3つの演劇学校と4つのダンス学校とサーカス訓練校1校からなり、生徒は高等教育基金カウンスルがら相当な奨学金を支給されています。

現在、英国では各演劇学校で似たような訓練を行っているので、養成された俳優の多くは、他の演劇学校で訓練を受けた俳優と楽に仕事をすることができます。

RADAにはどんなコースがありますか？

3年間の俳優養成学位コース、2年間の舞台技術と呼ばれる基本的なステージ・マネージメントの学位コースがあります。小道具作りや衣装、木や金属を使った背景制作、背景美術、照明デザイン、舞台の電気関係など1学期から1年の短期コースが5つ、1年間の演出コース、それから2年間の舞台美術のコースがあります。大体のコースは生徒が2~3人のみの小さなコースです。

## Presenter Interview

This interview explores the actor education system at The Royal Academy of Dramatic Art, an institution with a 100-year history

100年の歴史をもつ王立演劇アカデミーの俳優養成システムとは？

### RADAには脚本家コースはないのですか？

脚本家にはしばしば大学の演劇科を出た人がいますが、脚本家になるのに常道といったものはありません。RADAはロンドン大学のキングス・カレッジで修士コースを13年前から教えていますが、この修士コースには脚本を書くといった要素が含まれています。また、RADAの現代劇のクラスでは、生徒に書くように勤めています。脚本家コースはありませんが、学内で新作劇を書く機会は設けています。

### 毎年新入生は何人ぐらい入りますか？

新入生は160人です。そのうち俳優コースは男子16人女子16人の計32人ですが、32人の定員に対して昨年は2300人の申し込みがありました。申込者は18歳から30歳までと多様で、毎年11月から6月にかけて4つの段階を経て選びます。まず、第1段階はシェイクスピアと現代劇のせりふで、俳優と演出家など2人が短い口頭試問を行います。第2段階はシェイクスピアと現代劇のせりふと歌唱で、校長などを含む4人による長い口頭試問が行われます。第3段階では18人のグループが呼ばれ、6人ずつ3組にわかれ、シェイクスピア、チャーホフ、せりふのワークショップを各1時間行います。第4段階では、16人が1日かけてムーブメント、発声、即興などの授業を受け、せりふを生徒と職員がいっしょに聞いて、最終選考を行います。

### 入学後、俳優養成は実際どうやって行うのですか？

入学して1年間は主にクラスで勉強しますが、個々の学生は発声の先生から個人レッスンを受け、この訓練が3年間続きます。せりふ、地方なまり、アクセントとともに標準的な英語の話し方も学びます。アレキサンダー・テクニク、舞台の上での動き方、武器を使ったりあるいは武器なしでの戦闘場面の練習、歌唱の個人レッスン、コーラス歌唱などの各レッスンが、スタニスラフスキー・システムの演技レッスンによって補われます。

コースが進むにつれて、学生はプロジェクトを開始し、2学期の末にはリアリスト・プロジェクト、3学期には時代劇のダンス・プロジェクトやシェイクスピア・プロジェクト、4学期目は学内での詩の朗読、5学期目にはヤコビアン期の演劇と武闘の練習やテレビ・ラジオ出演のための練習、6学期目にはラジオ放送用の訓練や1660年の王政復古期の演劇の練習などを行います。6学期目の最後は2年生最後の時期にあたりますが、ここで初めて一般の観客の前で公演を行います。若者向けの劇を、若者に向けて公演します。

3年生になると、1学期に2つの劇を学外のプロの演出家や舞台美術家を呼んで制作し、2学期も同様に2つの劇を制作しますが、3学期目には将来仕事をくれるかもしれない演劇エージェントやキャスティング・ディレクター、地方劇場の芸術監督を呼んで、彼らの前で学生が2分のせりふや4分の演技を見せて売り込み、卒業制作の舞台にとりかかります。

### 学生は主として英国人ですか？

外国からの留学生もいますが、学生の大半は英国人です。俳優養成コースでは、毎年2人ほど留学生を受け入れています。米国、カナダ、オーストラリアなど、英語が母国語の学生です。舞台技術系は英語が完璧でなくても受講できるので、日本人の舞台マネージャーや小道具も何人が受け入れましたし、ノルウェー、スイス、フランス、ドイツ、韓国といった留学生も入学して国際的になっています。

### 卒業後すぐに仕事は見つかりますか？

卒業生の85%が、卒業後3カ月以内に仕事を見つけています。学校としては卒業し

## Presenter Interview

This interview explores the actor education system at The Royal Academy of Dramatic Art, an institution with a 100-year history  
100年の歴史をもつ王立演劇アカデミーの俳優養成システムとは？

次第プロとしての仕事が見つかるかと思っていますが、日本のように劇団に入団するシステムと違って、王立演劇アカデミーの卒業生はフリーとして仕事をするので、テレビの仕事が1本、ラジオが1本、演劇が1本、映画が1本という感じになります。だから、俳優がエージェントを持つことが非常に有用なのです。卒業生は常に仕事の網渡りしているわけですから。最近行った調査では、当校卒業5年後も75%の卒業生が定期的に俳優の仕事をしていることが分かっているので、大半の卒業生がプロの俳優として働いているのだと思います。

### 王立演劇アカデミーは、財政的にはどうやって運営しているのですか？

王立演劇アカデミーは1904年に創設されましたが、ずっと資金繰りが大変で複雑でした。今ではコンセルバトワールを作ってすべての学生が高等教育基金カウンスルから奨学金を貰っているので、学生は他の大学生と同様の奨学金が得られます。学校は独立組織で、政府からは各生徒への奨学金が出るのみです。

また、学外でも日本で「RADA in Tokyo」といったコースやニューヨークの2つの大学とのコースを開設しています。毎年、米国から32人の学生がシェイクスピアの授業を受けるためにロンドンにやってきます。夏休みには8週間の夏季学校を開設し、シェイクスピア・コースや現代劇のコースに、23カ国から160人もが学生がやってきます。

また、関連会社の「RADAエンタープライゼーズ」では、ロンドン市内のカムデン地区の若者のためにユース・シアターを開設したり、QEIIという豪華船の上でショーを行ったり、英国全土のユースセンターなどと協力して週末に演劇に親しむワークショップなどを組織したりしています。また、大企業のリーダーや地方自治体の人が職員の訓練を行う時、アクティングを活用する方法を指導したり、自分に自信をつけてプレゼンテーションやスピーチを上手に行う方法を指導したりしています。エンタープライゼーズで得た利益は学校に還元しています。

### 卒業制作について話してください。

RADAでは、卒業制作と呼ばれる特定の公演があるのではなく、3年生になってエージェントを呼んだり、一般客を入れたりして行うすべての公演が卒業制作になります。私が演目と演出家、キャストを選び、実質的には私が3年生の芸術監督を務めます。ちなみにエージェントへのプレゼンテーションは、RADAの創設者ハーバート・ピアボーム・ツリーの名前を取って「ツリー」と呼ばれています。エージェントに学生のプレゼンテーションを行い始めたのは英国でRADAが初めてで、学生がエージェントを見つけるのに一番よい方法だと思っています。

### RADAの特色はなんですか？

これというのは難しいのですが、RADAの古典の訓練はシェイクスピア劇とジャコビアン朝および王政復古期の戯曲に力を入れ、アレキサンダー・テクニクとともに学校が創設されたころからずっと教えられてきました。また、少人数制で教えていることも、大変重要ですね。アレキサンダー・テクニク、歌唱、発声などは個人レッスンですし、グループ・レッスンも10人以下の小さなグループなので学生に入念な個人指導ができます。さらに学生には、学内外から個人にチューターがつき、プロとの強いつながりが結べます。もちろん、現代劇も教えますが、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーやナショナル・シアターで仕事をする卒業生が多いのは、RADAが古典に強いことを示していると思います。

日本ではアレキサンダー・テクニクは知られてないと思いますが、アレキサ

## Presenter Interview

This interview explores the actor education system at The Royal Academy of Dramatic Art, an institution with a 100-year history  
100年の歴史をもつ王立演劇アカデミーの俳優養成システムとは？

ンダー・テクニクはなぜ俳優にとって重要なのでしょうか？

アレキサンダー・テクニクの創始者であるアレキサンダー氏は俳優でしたが、ワンマンショーを演じている時声が出なくなったので、鏡を使って頭と首の関係が座ったり歩いたりする姿勢全体にどのように影響しているかや、俳優としてナーバスになるなどの精神状態が声にどのように反映されるかということを見出しました。ですから、アレキサンダー・テクニクでは、習慣になっている肉体的緊張をほぐすことが中心になっています。最近英国の演劇学校ではアレキサンダー・テクニクを教えるところが多くなっていますが、RADA創設者のツリー氏自身がアレキサンダー氏からこのテクニクを直接伝授されたこともあり、RADAではアレキサンダー・テクニクが特に重要なものとされています。

バーターさんご自身について教えてください。1993年から現職ですが、その前はどんな仕事をされていたのですか？

校長になる前の5年間はRADAの教頭でした。1971年にゲスト演出家として働いたのがRADAとの最初の関わりです。そもそも私は演出家で、1963年から1988年まで、ロンドンのウェストエンドの商業劇場からFRINGEといわれる小劇場、シアター・ロイヤル・リンカーンといった地方の劇場で演出したり、ロイヤル・シェイクスピア・シアターの地方公演ユニットで働いたりしていました。イプスウィッチ・アート・シアターの運営に携わった後、ロンドン最大の児童劇場であるユニコーン劇場の芸術監督を10年間勤めました。常に若い人と仕事をするのと訓練に強い関心をもっています。

英国では80年代ミセス・サッチャーの時代に「俳優の数が多すぎる」といって、俳優削減の動きがありましたが、俳優の数はその後減っていますか？

減っているとは思いません。マスコミやテレビの仕事は減っていませんが、問題なのは劇場での仕事の数が減っていることです。もう何年も地方の劇場の予算がインフレに追いつかなくなっているのです。かつてのように地方劇場のネットワークで俳優を2~3カ月といった単位で雇い、俳優がそこで育っていくといったことがなくなってきました。一方、特にロンドンでは小劇場が増えていますから、パブ・シアターとか、サザック・プレーハウスのような古い建物を改装して作った新しい劇場で働く機会はあるのですが、通常それでは大した報酬は得られません。劇はかなりのレベルなのですが、仕事としてはセミプロの仕事ですね。

最近ではインターネットの影響やチケット値上がりのため、英国でも「劇場離れ」の傾向が見られます。今の時代に、演劇の社会的役割についてどうお考えですか？

RADAが行うのは、俳優として発声やシェイクスピア劇の基礎などが必要だから、仕事で求められることに対して鍛えて準備するということです。しかし、学校は技を磨く場ではありますが、自分たちの世代の観客を巻き込んで演劇を作っていくのは学生自身なのです。60年代にわれわれの世代は、新しい演劇の観客を発掘し、さまざまな人が劇場にやってくるよう情熱を持って働きかけました。若い人の求めているものを見つけ、劇場をどうやって生きたものにしていくか、外界をどう反映させ人々にとって意味のある演劇を作るかは、今の学生にかかっているのです。

RADAと日本の関わりについて、教えてください。

RADAと日本というのは、実は私と日本との関わりなのです。1977年、私がユニ

## Presenter Interview

This interview explores the actor education system at The Royal Academy of Dramatic Art, an institution with a 100-year history

100年の歴史をもつ王立演劇アカデミーの俳優養成システムとは？

コーン劇場にいた時、初めて日本の文化庁在外研修生2名を受け入れました。私がRADAに来てからすぐ、今度は劇団昴の演出家が留学してきて、日本でRADAのワークショップを企画することを思いつき、93年から3年間、昴でワークショップを行いました。北海道の富良野塾など日本の地方都市でもワークショップをしたことがあります。

### RADAで日本の現代劇を上演したと聞きましたが？

安部公房の『友達』とマキノ・ノゾミの『フコヒコ』を上演しました。どちらもRADAの学生が出演し、英国の現代戯曲を翻訳している吉岩正晴さんとRADAに留学していた村田元史さんが演出しました。2人ともRADAのやり方を良く知っているので、俳優とは非常にうまく仕事ができました。観客の受けもよかったと思います。しかし、文化的な背景が違うので、日本の現代劇を英国で上演するのは容易ではありません。

RADAの学生たちは、最初日本人の気持ちを内側から理解して役になりきるのをちょっと難しくしていました。特に日本の家族のあり方や「フコヒコ」のおとうさんのような内省的な人物を英国人の俳優が演じるのは難しいですが、最終的には大変いい勉強になりました。

### RADAにはいくつ劇場があるのですか？ 運営ポリシーは？

3つです。最大200席のジャーウッド・バンボフ劇場、脚本家でRADAへ多額の寄付を行ったジョージ・バーナード・ショーの名前をつけたGBSスタジオ劇場（80席）、RADA出身のシェイクスピア俳優ジョン・ギルグッドの名前をつけたギルグッド劇場（60席）です。

これらの劇場は、学期中は俳優だけでなく技術や美術の学生の演習用として使われますが、学校が休みの間は貸し小屋になります。和泉元彌の狂言などに劇場を貸したことがあります。

### 今後日本関係の劇の上演計画はありますか？

伝統的な劇は紹介されていますが、現代劇をもっと紹介したいと思うので、現代劇を近いうちに新たに上演したいと考えています。ロンドンのブッシュ劇場は、永井愛の戯曲の朗読を行いましたし……。京都を拠点にしている劇団MONOの土田英生さんの劇は下北沢で見ましたが、非常に興味をそそられる若手のライターだと思います。いろいろな現代劇を検討中で、アイデアはあるのですが、私がどの劇をやるようとしているかはまだヒミツです。

1995年から5年間ロンドンで日本人の俳優のための4週間のコースを開催しましたが、学校の建物再建の関係でこのところ休んでいました。でも、新しいビルが完成する2007年には、このコースを再開しようと考えています。